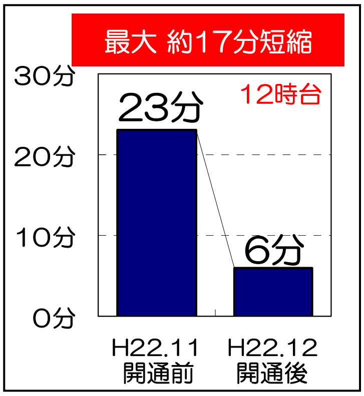
平成２２年１２月２２日（水）
国土交通省 関東地方整備局
横　浜　国　道　事　務　所

記者発表資料

原宿交差点立体化 トンネル全線開通（横浜市戸塚区）開通後の交通状況についてお知らせします。

平成22年12月12日(日)に、下り線トンネルが開通しました。
全線立体化となった国道１号原宿交差点について、開通後の交通状況をお知らせします。

◆国道１号下り線では、横浜市戸塚区上矢部町周辺から原宿交差点を通過するまでの所要時間が、開通前に比べて、最大で約１７分短縮し、原宿交差点を先頭とする渋滞が緩和されました。



◆国道１号を通過している交通量は、
１日当たり、約66,000台となり、
開通前に比べ、交通量が約１割増加しました。
なお、原宿トンネルを利用している交通量は
１日当たり、約53,500台です。

※今後も、周辺道路等の現地調査を行い、開通後の交通状況をお知らせしていく予定です。

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ　神奈川建設記者会　神奈川県政記者クラブ　横浜市政記者会　横浜ラジオ・テレビ記者会

問 い 合 わ せ 先

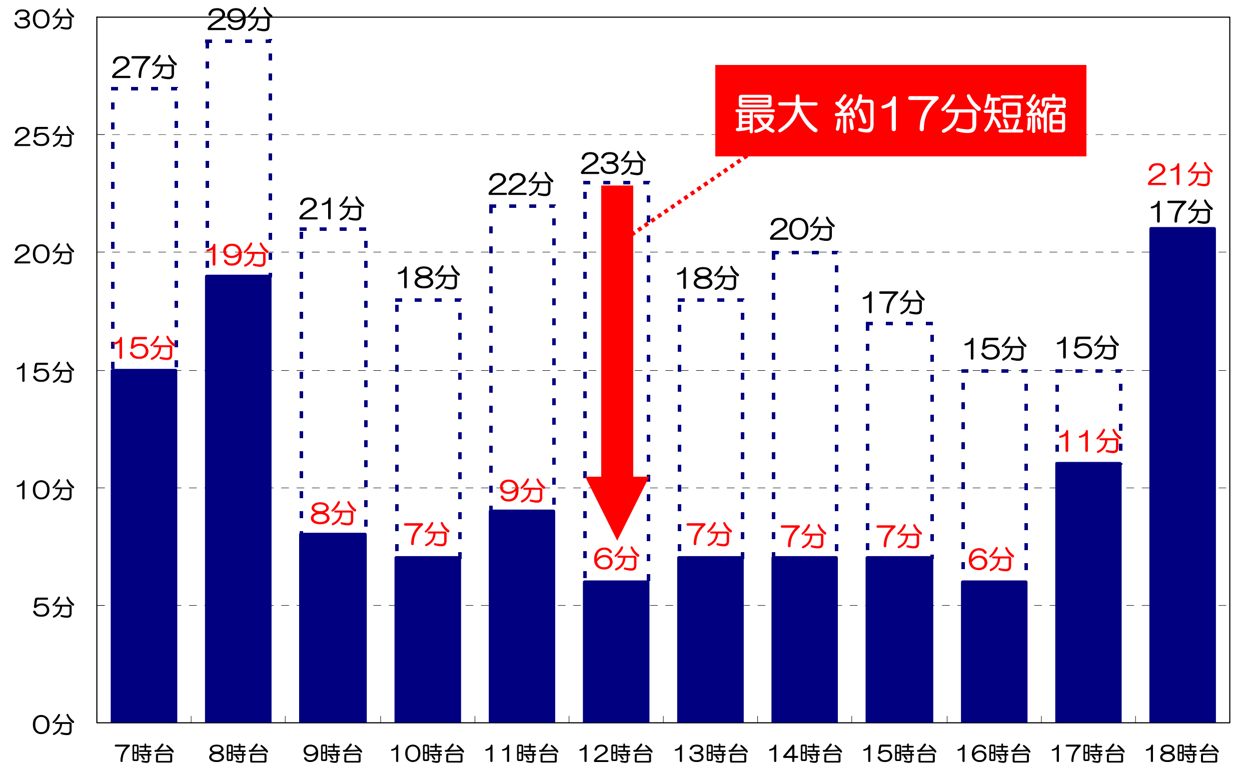
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所
電話　045-311-2981（代表）
副所長（改築）　徳嵩（とくたけ）　公明（きみあき）　　調査課長　石倉（いしくら）　丈士（たけし）

◆国道１号の交通状況

■国道１号　原宿交差点を通過するまでの所要時間の変化（時間帯別）

ほとんどの時間帯で、大幅に通過時間が短縮しています

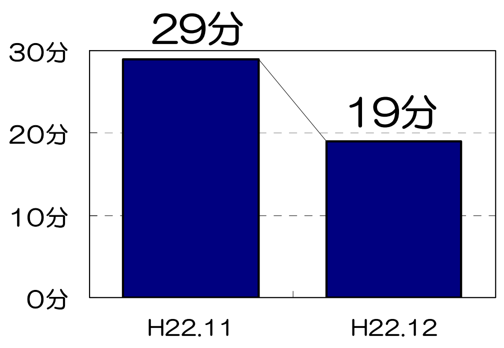
○下り線（藤沢方面）の時間帯別所要時間の変化　（黒数字：開通前、赤数字：開通後）



■最大通過時間の比較（開通前・開通後）

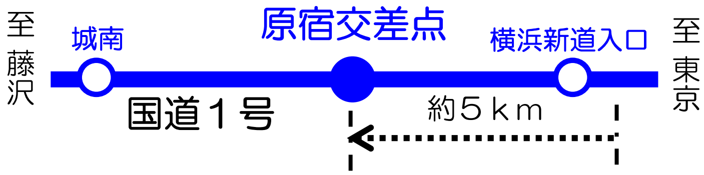
最も所要時間がかかっていた「朝の通勤時間帯」
（8時台）で所要時間を比較してみました

○下り線（藤沢方面）の所要時間



［下り線（藤沢方面）］

約１０分短縮



開通前（H22.11調査）	２９分
開通後（H22.12調査）	１９分

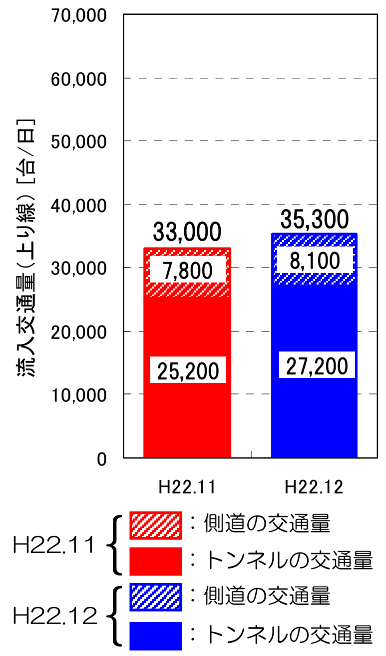
■調査日　・開通前：平成22年11月25日（木）
　　　　　・開通後：平成22年12月14日（火）

※ 原宿交差点から約5km離れた戸塚区上矢部町周辺から原宿交差点を通過するまでの所要時間を比較しています。
※ 調査方法：車による実走行にて計測
※ トンネル開通日：上り線→H21.4.4（土）、下り線→H22.12.12（日）

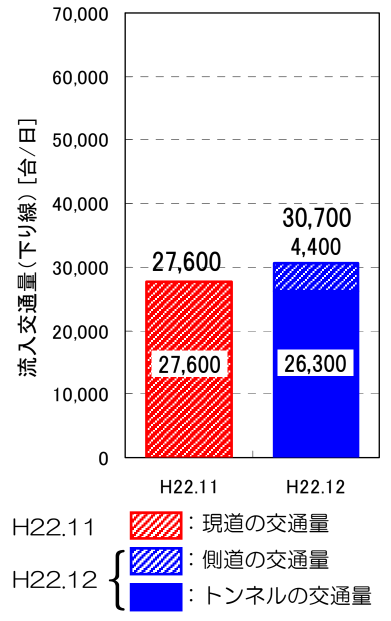
■国道1号　原宿交差点の交通量

国道の交通量が約１割増加していますが、通過時間の短縮効果がでています。

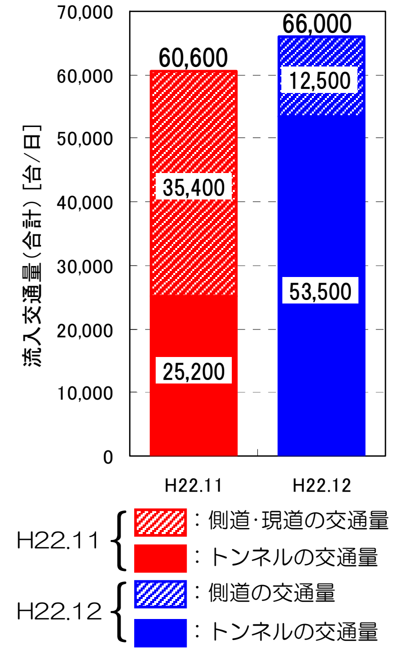
○上り線（東京方面）



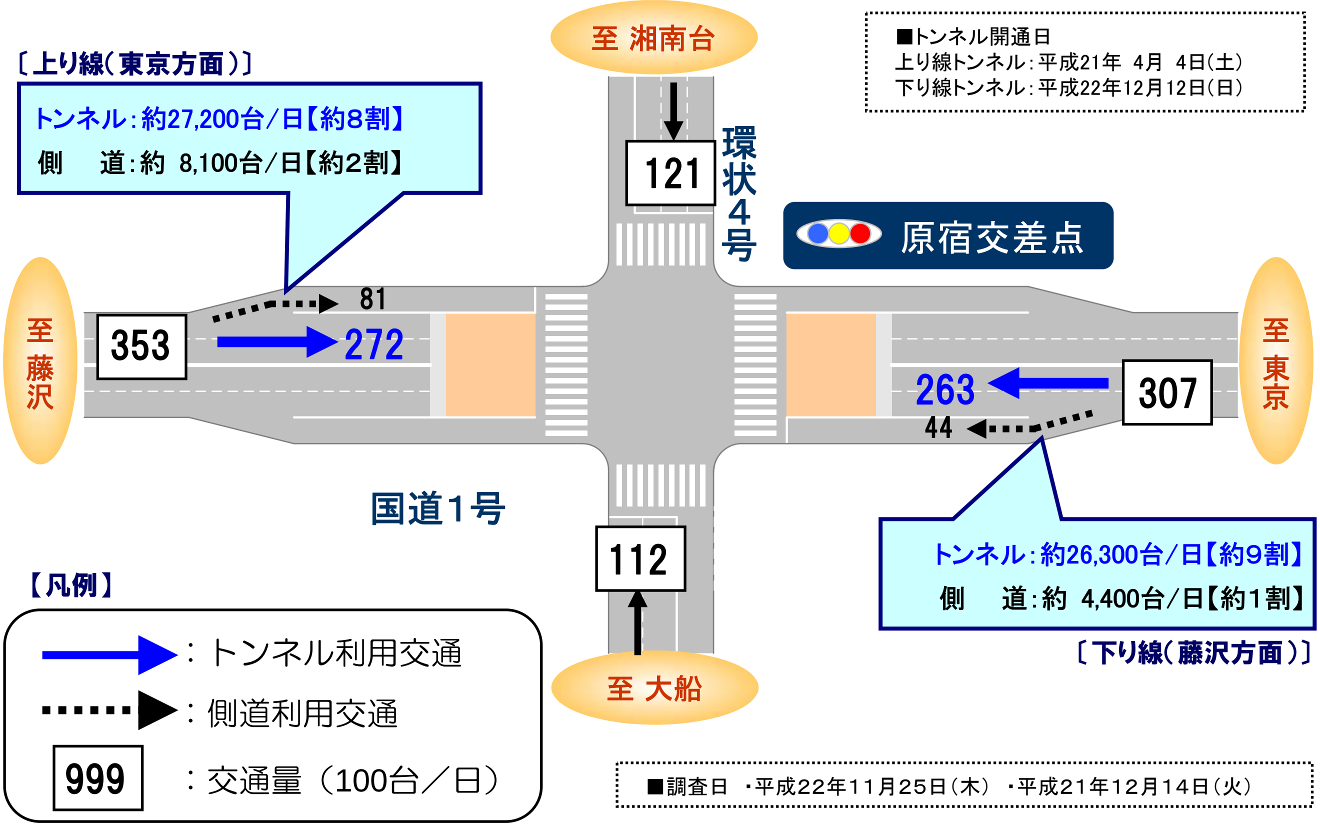
○下り線（藤沢方面）



○合計



■トンネル開通日
上り線トンネル：平成21年　4月　4日（土）
下り線トンネル：平成22年12月12日（日）



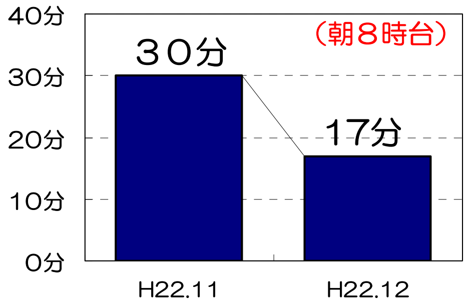
■調査日　・平成22年11月25日（木）　・平成21年12月14日（火）

注）現道･側道の交通量とは、「地上部の道路」を通行した車両の台数を示します。

◆環状４号の交通状況

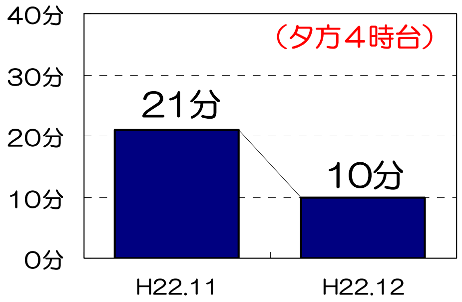
■環状4号　原宿交差点を通過するまでの所要時間（最大通過時間で比較）

○湘南台方面から原宿交差点の所要時間



※ 和泉坂上交差点から原宿交差点（約5km区間）を
通過するまでの所要時間を比較

○大船方面から原宿交差点の所要時間



※ 笠間交差点から原宿交差点（約4km区間）を
通過するまでの所要時間を比較

開通前（H22.11調査）	３０分
開通後（H22.12調査）	１７分

〔湘南台方面から原宿交差点〕

約１３分短縮

約５ｋｍ

約４ｋｍ

〔大船方面から原宿交差点〕

約１１分短縮

開通前（H21.11調査）	２１分
開通後（H22.12調査）	１０分

■開通前の状況

（平成22年12月6日８時頃撮影）

下り線トンネルが開通する直前の状況

■開通後の状況

（平成22年１2月14日８時頃撮影）

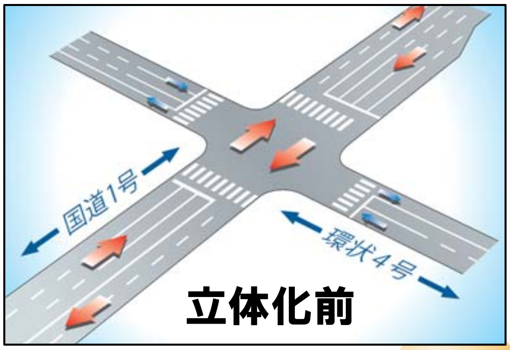
環状４号の渋滞が解消しています

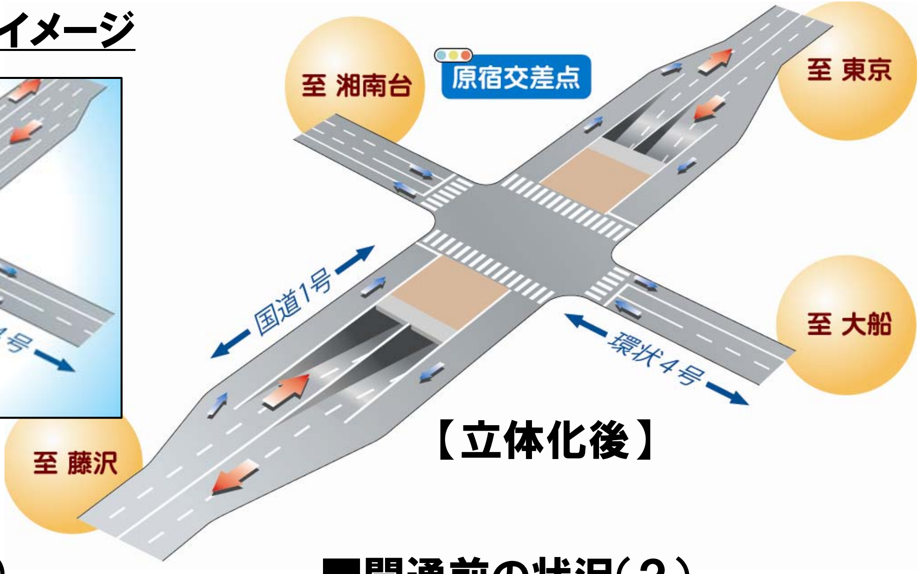
上下線トンネルが開通した後の状況

■調査日　・平成22年11月25日（木）　・平成22年12月14日（火）

※調査方法：車による実走行にて計測
※トンネル開通日：上り線→H21.4.4（土）、下り線→H22.12.12（日）

原宿交差点　立体化イメージ





■開通前の状況（１）

（平成22年7月２７日１５時頃撮影）

下り線トンネルを暫定的に
上り線トンネルとして利用している状況

■開通前の状況（２）

（平成22年１2月6日１１時頃撮影）

下り線トンネルが開通する直前の状況
（上り線トンネルは開通済み）

■開通後の状況

（平成22年１２月１４日１１時頃撮影）

上下線トンネルが開通した後の状況

国道１号の交通が
『スムーズ』
に流れています

（※）国道１号　原宿２丁目付近の横断歩道橋から原宿交差点（藤沢）方面を臨んで撮影

原宿交差点改良の事業概要　（参考）

○概要

　原宿交差点改良事業は国道１号と環状４号との交差点を立体化（国道１号が地下を通ります）し、国道１号の通過交通と環状４号との出入り交通を分離することによって、交通混雑を解消し、横浜市の放射・環状方向の円滑な交通を確保することを目的に計画されたものです。

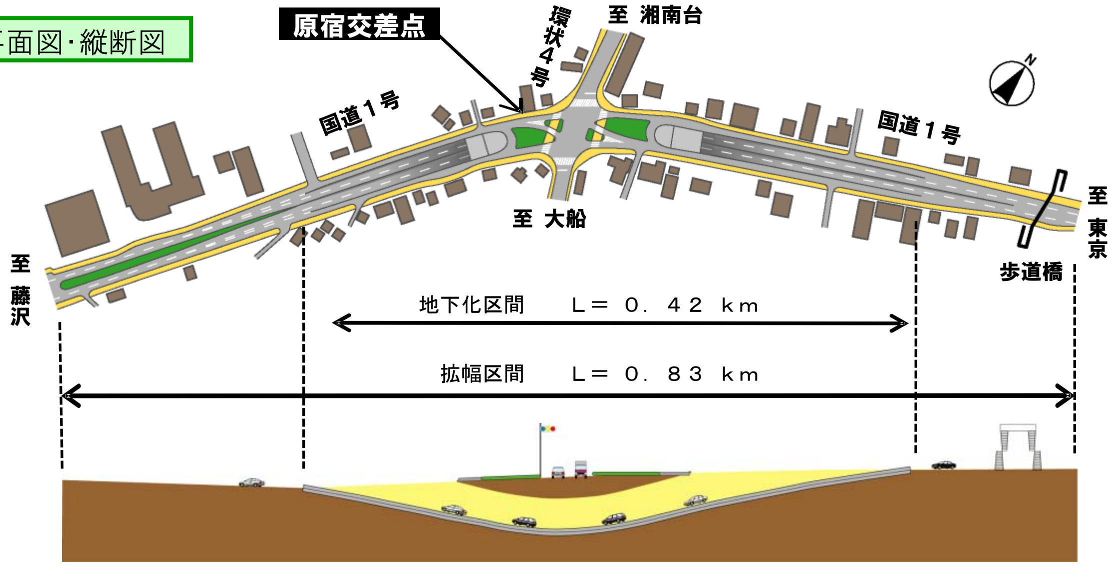
-諸元-

区　　間	：自）神奈川県横浜市戸塚区原宿 至）神奈川県横浜市戸塚区原宿
計画延長	：０.83ｋｍ
幅　　員	：36.5m
道路規格	：第4種第1級
車 線 数	：本線４車線 ・ 側道２車線

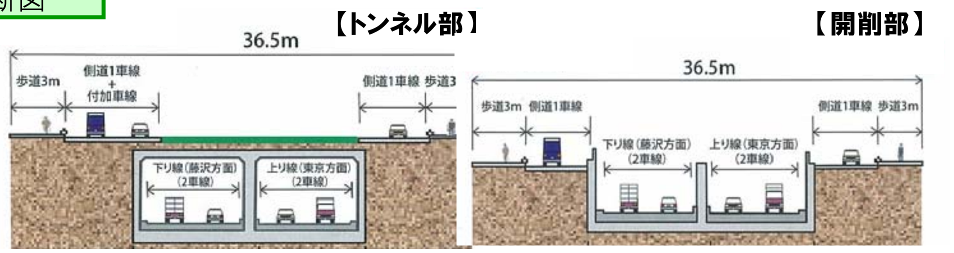
-事業の経緯-

平成　３年度	：用地取得着手
平成１９年　２月	：立体化工事着手
平成２１年　４月	：東京方面（上り線）トンネル開通
平成２２年１２月	：藤沢方面（下り線）トンネル開通 （上下線立体化）

計画平面図･縦断図



標準横断図



　今後も、地上部において側道の歩道拡幅、舗装工事、Uターン路の設置等を実施してまいります。ご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。